

令和元年度関東甲信越地区計量団体 連絡協議会を本県で開催

去る10月24日(木)・25日(金)に、10年ぶりに関東甲信越地区計量団体連絡協議会を伊香保温泉「ホテル木暮」にて186名の参加を得て開催しました。当日は、関東甲信越地区の1都9県の計量関係者が一堂に会し、台風19号被害等で忙しい中の山本知事をお迎えし、表彰式のほか、直面している課題について熱心に協議を行うとともに懇親を深めました。

■表彰式を挙行

2名を功労者として表彰しました。

新潟県計量協会 金井哲郎、神奈川県計量士会 小野 威

■協議会で審議、情報交換

冒頭、山本一太知事より来賓のあいさつをいただき、横田貞一群馬県計量協会会長が開催県あいさつを行いました。

来賓あいさつとして、阿部一貴経済産業省産業技術環境局基準認証政策課計量行政室長、井田泉群馬県議会副議長、小谷野泰宏国立研究開発法人産業技術総合研究所計量研修センター長、河住春樹一般社団法人日本計量振興協会専務理事が祝辞を述べました。

議題審議は次の4つの議題について協議、情報交換を行いました。

【提案議題】

- 1 一般計量教習（資格認定コース）について
- 2 一般計量士確保の実態と今後の対策について
- 3 スーパーマーケット等のバックヤードで使用されている自動包装値付け機が新規型式承認を取得する場合は自動はかりとして取り扱われることについて
- 4 現在の定期検査の実施方法及び今後の方向性について

協議結果は、1の教習の入所定員を増やすことと3の引き続き非自動はかりとしての運用を図ることについては協議会要望として国へ要請し、2及び4については各県の状況や対応を参考にし、うえて、各団体が今後活かすことで完結しました。

なお、阿部計量行政室長と小谷野研修センター長からは当該議題について前向きに検討するなどのコメントをいただきました。

その後、記念講演として、たかさき紅の会代表吉村晴子先生による「紅絹の美～よみがえる紅～」の講演を実施しました。



山本一太 群馬県知事



横田貞一 (一社)群馬県計量協会会長



阿部一貴 計量行政室長



たかさき紅の会 吉村晴子氏